

おきたま 社会教育情報

Vol. 157 令和5年10月号

子どものメディアのルールづくりと家族のかかわり方 ～人生を豊かに、楽しく生きていくための使い方～〈第1回家庭教育支援フォーラム〉



9月28日(木)に第1回家庭教育支援フォーラムをオンラインと参集のハイブリッドで開催しました。講師は、精神保健福祉士、公認心理師、ASK 認定依存症予防教育アドバイザーの増田 貴久(ますだたかひさ)氏です。最新の子どものメディア利用状況のデータを始め、ネットやゲームは子どもたちの第3の居場所になっていること、だからこそ、子どもたちが安全にネットの世界を歩けるようにするために大人たちがどう考え、関わっていけばよいのかなどお話いただきました。参加した方からは

「あまりに守れないルールは、その子に合わないものとして見直し、守れるルールに変えること。守れたら褒めてあげるといことがルールづくりの新たな認識となりました。」「メディアについて子どもの教育の前に、親や教育に関わる方のネットに対する学びが必要だと感じました。」「勉強しないからゲームを禁止したり、取り上げたりするのではなく、約束を守る子どもに育てていけるようにしたいと思いました。」などの感想が寄せられ、満足度の高い研修会となりました。

増田先生は、メディアに関することは常々変化しているの、アップデートしているとのこと。危ないからと遠ざけるのではなく、子どもたちが何に興味を持ち、どのような使い方しているのか会話などを通してしっかりと見取ることが大事だと感じました。「何かあったらすぐ相談できる」「子どもの異変を感じ取ることができる」常にほどよい距離感でつながり続ける「伴走型支援」の考え方も新鮮でした。

〈参加者の方からいただいた質問に増田先生からお答えいただきました〉



参集した皆さんの感想交流の様子



Q. ネットで知り合った人と安全にリアルに会うには、どんな方法がありますか。

A. 基本的には安全です。昔ならば文通だけで直接会ったことない友達と会うような感覚です。こうやったら絶対安全という方法はありませんが、そのことについて子どもと一緒に前向きに考える過程こそが、子どもがリテラシーを身に着ける時間になります。答えを与えてはトラブルになったときに臨機応援に対応できなくなるので「一緒に前向きに考える」を心がけてほしいと思います。



Q. ネットで問題が起きた時の相談できる具体的な場所を教えてください。

A. ネットやゲームを大人が敵視しすぎていて、そういう場がないことこそが、ネットゲームトラブルの温床です。大人があまりにも疎すぎて頼りにならない状態を何とかしなければ、子どもたちも相談できる場がなくて困っています。これもとにかくオープンに、興味を持って子どもの話を聞くことと、意外と高校生、大学生が的確に様々なトラブル回避スキルを持っていたりするので、ちょっと大きいお子さんをお持ちの先生を通じて色々きいてみるなども方法かと思います。

第2回公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会

テーマ：私の人生をふりかえってみよう！

～誰でも簡単！前向きに！楽しくなる！～【自分史第2弾】

講師：伊藤 洋子 氏(自分史活用アドバイザー・自分史活用マスター)

※昨年度第1弾に参加された方も楽しめる内容となっております。ぜひ参加ください！



令和5年度置賜社会教育振興大会 (兼) 置賜地区生涯学習振興ブロック大会の御報告

10月24日(火)に、令和5年度の置賜社会教育振興大会(兼)置賜地区生涯学習ブロック大会が南陽市のシェルターなんようにて行われました。

初めに令和5年度置賜社会教育振興会表彰(優良社会教育団体・公民館・職員等表彰)が行われ、長年にわたり社会教育の振興に尽力された7名1団体の皆様に表彰状が授与されました。受賞された皆様は以下の通りです。誠にありがとうございます。

後半は、ウェザーハート災害福祉事務所代表の千川原公彦氏を講師に迎え、研修会が行われました。テーマを「人と地域で作る防災ネットワークと災害時の助け合い」とし、防災についての講演の後、大きな災害が発生した場合に備えるべくグループワークに取り組みました。自分たちの手で避難所を運営することになった場合どのような配慮が必要か、それぞれが知恵を出し合い活発な意見交換が行われました。参加者からは、「様々な視点から考えることが大事だとわかった。機会があれば地区での研修を提案したい。」「大変勉強になった。地区の人たちの連携なくして防災は難しい。」などの意見が聞かれました。

今回の振興大会では講演のみではなく、参加者の皆様の意見交換の場を取り入れました。大変好評をいただきましたので、次年度以降、様々な研修会の参考にしていきたいと考えております。

令和5年度 置賜社会教育振興会表彰 受賞者	
〈優良社会教育団体・公民館・職員等表彰〉	
米沢市	後藤 幸子氏(塩井コミュニティセンター主事) 藁科 幸子氏(田沢コミュニティセンター主事)
長井市	おはなし会“ぶち”
南陽市	高橋 大吉氏(前南陽市夕鶴の里館長)
高畠町	神保 一雄氏(前二井宿地区公民館長)
川西町	瀧澤 章氏(前大塚地区社会を明るくする協議会事務局長)
小国町	高橋 義彦氏(小国町青少年健全育成推進委員会会長)
白鷹町	向田 俊一氏(前白鷹町スポーツ少年団本部長)
飯豊町	佐藤 芳栄氏(飯豊町公民館運営審議会委員)



受賞された皆様
誠にありがとうございます



講師の千川原氏

グループワークの様子

子どもたちにとって望ましいスポーツ環境の構築のために

加速する少子化の中でも、将来にわたって子どもたちがスポーツに親しめる機会の確保、そして、学校の働き方改革推進による学校教育の質の向上を目指して、部活動改革が進められています。各市町教育委員会では、国、県の定めたガイドラインを踏まえて、検討委員会(市町によって名称は異なります)を組織し、市町の実情に応じて改革に向けた協議を行っています。市町によっては、国の委託事業も活用して実証事業を実施し、課題の整理・検証を進めているところもあります。

リーダーバンクやまがたへの登録をお願いします! 登録はこちらから



「指導者の確保」はどの市町でも挙げられる課題の1つです。県教育委員会では、より多くの地域のスポーツ指導者の方々にご協力をいただくため、スポーツ指導者情報提供システム「リーダーバンクやまがた」の充実を図っています。登録することで、山形県広域スポーツセンターのHPで検索が可能となり、指導者を探している団体から問い合わせがあった場合にこちらで仲介します。自らのスキルを活かして中学生年代へのスポーツ指導に携わることに関心のある方は、ぜひ登録をお願いします。



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 ☎ 0238(88)8242】